

平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

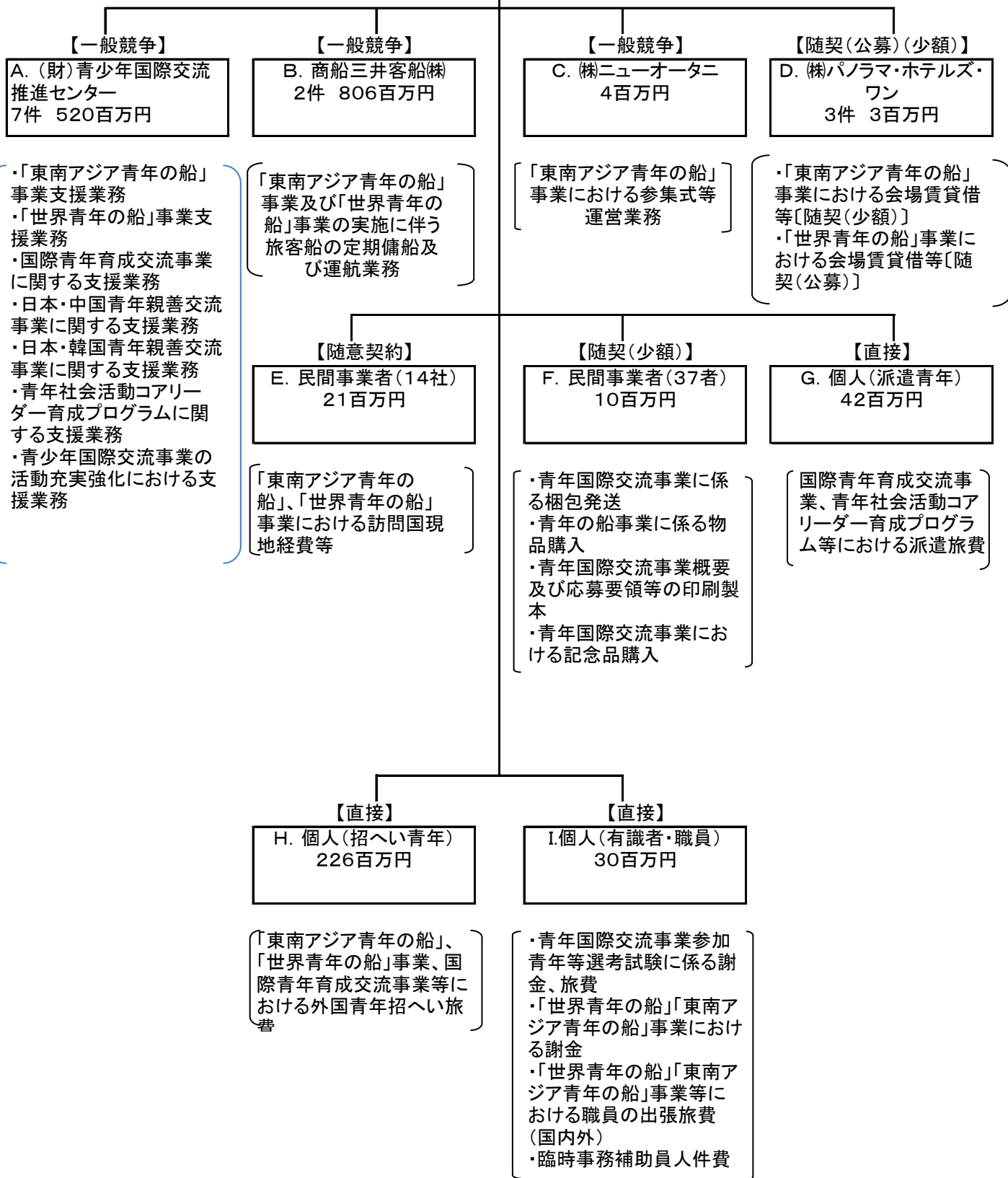
事業名	青年国際交流経費	担当部局庁	政策統括官(共生社会政策担当) (子ども・若者子育て施策総合推進室)	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和34年度	担当課室	参事官(青年国際交流担当)	参事官 佐藤 正昭				
会計区分	一般会計	施策名	10-⑱共生社会実現のための施策の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法 第4条 第3項 二十七 青少年の健全な育成に関する関係行政機関の事務の連絡調整及びこれに伴い必要となる当該事務の実施の推進に関すること	関係する計画、通知等	「子ども・若者ビジョン」(平成22年7月23日 子ども・若者育成支援推進本部決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	内閣府の青年国際交流事業は、航空機による派遣・招へい事業及び船による多国間交流事業を通じた日本と諸外国の青年の交流により、青年相互の理解と友好を促進するとともに、青年の国際的視野を広めて、国際協調の精神を養い、次代を担うにふさわしい青少年を育成することを目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	航空機による派遣・招へい事業及び船による多国間交流事業において、我が国及び諸外国の参加青年は、世界的視野に立った共通課題の研究・討論、自国の文化の紹介などの各種交流活動や、産業・文化・教育施設の視察、ホームステイなどの活動を行い、友好、親善を深める。 これまでに、日本青年約15,400人・外国青年約18,700人が事業に参加し、日本を含む世界50か国以上で事後活動組織が設立され、様々な社会貢献活動などを行っている。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	1,609	1,580	1,565	1,464	1,321	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	1,609	1,580	1,565	1,464	1,321	
	執行額	1,637	1,703	1,661				
執行率(%)	101.7%	107.8%	106.2%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (各年度)	
	青年国際交流事業の各事業における参加青年アンケート調査において、事業参加が青年本人の将来に役立つと思う者の割合	成果実績		各事業平均	94%	83%	93%	90%以上
		達成度	%	—	92%	103%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	国際青年育成交流事業、日本・中国青年親善交流事業、日本・韓国青年親善交流事業、「世界青年の船」事業、「東南アジア青年の船」事業、青年社会活動コアリーダー育成プログラムにおいて、日本青年と海外青年の交流を行っている。	活動実績 (当初見込み)	人	日本参加青年	302人	304人	296人	—
				外国参加青年	602人	563人	567人	
			日本参加青年	315人	319人	315人	日本参加青年	
			外国参加青年	621人	581人	581人	外国参加青年	
単位当たりコスト	1,867(千円/人)	算出根拠	各事業にかかったコスト/参加青年人数					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	382	426	「世界青年の船」事業見直しによる運航日数の削減、航空賃見直し等による減				
	職員旅費	18	16					
	青年海外派遣旅費	42	71					
	委員等旅費	2	1					
	外国人招へい旅費	221	182					
	庁費	19	10					
	青年の船運航費	779	615					
計	1,464	1,321						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・使 途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績 、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検 結果	<p>・青年国際交流経費の予算額は、10年前(平成13年度)は約19億円であったが、事業の廃止・合理化により段階的に縮減を行い、平成23年度は14億6千万にまで減額している。</p> <p>・各事業のプログラム実施においては、例年その手法や効果等について検討しているところであるが、地方自治体等による支援・協力を求めるなどにより、引き続き、事業の見直しを進めるとともに、執行が予算を上回っている現状を踏まえ、予算の効果的・効率的な執行に努める。</p> <p>・本事業の参加青年は、事業参加後に国際機関やNPOなどで活躍しているほか、既参加青年が組織している非営利の活動団体「日本青年国際交流機構」(IYEO)において、事後活動を活発に展開している。また、外国参加青年においても世界50か国以上で事後活動組織が活動しており、本事業の参加を基に世界中にネットワークが作られている。このような事業効果を対外的に発信し、理解を求めていくことが大切であることから、今後、社会貢献活動等の事後活動実績を調査することなどにより、既参加青年の各界での活躍やネットワークを具体的に明らかにした上で、事業の効果を点検してまいりたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部 改善	<p>一者応札等について、実質的な競争性の確保のため、仕様要件の内容や応札しやすい環境づくりなど、入札関係について大幅な改善を図るべき。 執行率が毎年100%を超えている。今事業における過去の効果の検証、プログラムの見直し、参加者負担額の増額など効率化について検討すべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>青年国際交流事業における支援業務等においては、一部を除き1者入札が続いているところであるが、これまでの入札においても広く事業者を求めるため、事業者を求める要件を緩和するなど、改善を行ってきたところ。今年度の入札においても、一部を除き1者入札だったことを踏まえ、来年度の調達に当たっては、より事業者が参加しやすいよう公告期間の延長や入札要件の見直し、仕様書における業務内容の記載についての点検等を行う。</p> <p>執行率が毎年100%を超えていることについては、各事業のプログラムの見直しを行うことにより、予算内における効率的・効果的な事業の実施を目指すこととする。なお、事業のうち、「世界青年の船」事業については、プログラムを見直すことにより、平成23年度予算に対し24%削減を行った。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

内閣府政策統括官(共生  
社会政策担当)  
1,661百万円

事業概要、役割  
日本と諸外国の青年の交流により、相互理解と友好を促進し、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを促進



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.(財)青少年国際交流推進センター			E.a.t.s.Pacific		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	「東南アジア青年の船」事業支援業務	151	借料	ハイヤー及びバス借上料(フィジー共和国、オーストラリア)	8
役務費	「世界青年の船」事業支援業務	110			
役務費	青年社会活動コアリーダー育成プログラム支援業務	86			
役務費	国際青年育成交流事業支援業務	84			
役務費	日本・韓国青年親善交流事業支援業務	35			
役務費	青少年国際交流事業の活動充実強化支援業務	30			
役務費	日本・中国青年親善交流事業支援業務	24			
計		520	計		8
B.商船三井客船(株)			F.朝日梱包(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
備船料		601	雑役務費	平成23年度青年国際交流事業参加青年募集関係書類等の梱包発送	1
運航経費	燃料、供食費、港費、運航消耗品等	152			
運航委託手数料		53			
計		806	計		1
C.(株)ニューオータニ			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
会議費	飲食代	3			
借料	会場の賃貸借	1			
雑役務費	看板代等	0.3			
その他	消費税等	0.2			
計		4	計		0
D.(株)パノラマ・ホテルズ・ワン			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
会議費	飲食代	2			
借料	会場の賃貸借	0.4			
雑役務費	装飾代等	0.1			
その他	消費税等	0.1			
計		3	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。費目と  
 使途の双方で実  
 情が分かるよう  
 に記載)

支出先上位10者リスト

A. (財)青少年国際交流推進センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)青少年国際交流推進センター	「東南アジア青年の船」事業支援業務 「世界青年の船」事業支援業務 青年社会活動コアリーダー育成プログラム支援業務 国際青年育成交流事業支援業務 日本・韓国青年親善交流事業支援業務 青少年国際交流事業の活動充実強化支援業務 日本・中国青年親善交流事業支援業務	151 110 86 84 35 30 24	1者 1者 1者 2者 1者 1者 2者	—

B. 商船三井客船(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	商船三井客船(株)	「東南アジア青年の船」事業実施に伴う旅客船の定期傭船及び運航委託 「世界青年の船」事業実施に伴う旅客船の定期傭船及び運航委託	420 385	1者 1者	—

C. (株)ニューオータニ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ニューオータニ	「東南アジア青年の船」事業における参集式等運營業務	4	2者	—

D. (株)パノラマ・ホテルズ・ワン

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)パノラマ・ホテルズ・ワン	「世界青年の船」事業における会場等の賃貸借等 「東南アジア青年の船」における会場等の賃貸借等	2 0.9	1者 随契(少額)	—

E. 民間事業者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	a.t.s.Pacific	寄港地活動に要するバス・ハイヤー借上代(フィジー共和国、オーストラリア)	8	随意契約	—
2	TRAVEX CO., LTD.	寄港地活動に要するバス・ハイヤー借上代(タイ)	3	随意契約	—
3	KENTOS SERVICE PTE LTD	寄港地活動に要するバス・ハイヤー借上代(シンガポール)	2	随意契約	—
4	N. J. TOURS SDN. BHD	寄港地活動に要するバス・ハイヤー借上代(マレーシア)	2	随意契約	—
5	PT. PANDA TRAVEL AGENCY INDONESIA	寄港地活動に要するバス・ハイヤー借上代(インドネシア)	2	随意契約	—
6	TOMATECO TOURIST	寄港地活動に要するバス・ハイヤー借上代(ベトナム)	1	随意契約	—
7	Lone Pine Koala Sanctuary	寄港地活動入場料(オーストラリア)	1	随意契約	—
8	Riverlife Adventure Centre	寄港地活動見物料(オーストラリア)	0.8	随意契約	—
9	South Pacific Tours	寄港地活動に要するハイヤー借上料(バヌアツ)	0.3	随意契約	—
10	SOLOMON KITANO MENDANA HOTEL	寄港地活動に要するハイヤー借上料(ソロモン)	0.2	随意契約	—

F. 民間事業者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	朝日梱包(株)	平成23年度青年国際交流事業参加青年募集関係書類の梱包発送等	1	随契(少額)	—
2	(有)創電社	「東南アジア青年の船」事業に係る物品購入等	1	随契(少額)	—
3	(株)双文社	平成23年度青年国際交流事業事業概要及び募集要項印刷製本	1	随契(少額)	—
4	富士ゼロックス(株)	電子複写機の賃貸借等	1	随契(少額)	—
5	(株)三陽堂	ピラ代等購入	0.7	随契(少額)	—
6	(株)祐馬工芸	青年国際交流事業参加青年に対する記念品の購入	0.5	随契(少額)	—
7	メディアランド(株)	青年国際交流事業参加青年募集リーフレット印刷製本	0.5	随契(少額)	—
8	トップツアー(株)	世界青年の船事業に係る通訳業務	0.4	随契(少額)	—
9	(株)丸井工文社	東南アジア青年の船事業(第37回)リーフレット(英文)印刷製本等	0.4	随契(少額)	—
10	稲木商工(株)	紺ジャージ代剣道上着外代	0.3	随契(少額)	—